



石田 ちひろ

日本共産党品川議会控室 TEL 03-5742-6818
すずらん通り事務所 TEL 03-5462-2133

2012年4月1日
ちひろニュースNo.31

防災 みんなどうしてる



東日本大震災から二年がたち、いまだ復興に本気になろうとしない政府のもとで、この東京も首都直下型の地震がいつ襲ってくるかわからないなど、いろいろ研究発表も出されています。しかし重要なことはいつ来るかではなく「必ず来る」ということです。でも…どうやって備えるのか…

まずは災害を未然に防ぐ予防対策を

東日本大震災での最大の被害は津波によるものでした。しかしこの品川で予想される直下型の地震は被害の多くが『家屋の倒壊による圧死・窒息死』です。阪神・淡路大震災の被害が近い状況となります。災害の危険性を認識し、災害を未然に防ぐことが必要です。

一撃から身を守る

直下型の自身の場合、一撃目のたて揺れが襲ってきます。その一撃により家屋の土台が壊され、次のよこ揺れで倒壊へと至ります。この最初の一撃で壊れてしまう家屋も少なくありません。みなさんも災害が起きた時、まず考えるのは『避難所』のことではないでしょうか。しかし避難所に行くには、まず一撃から身を守れていないと、避難所にも行くことはできません。

この一撃から家屋を守るには、耐震化が重要です。「自分の家はどうせ倒れる」「耐震化したって強い地震には耐えられない」と諦めている人もいるのではないのでしょうか。

現に私自身も、区議会議員になるまでは諦めていました。少しでも倒れない家に近付ければ、倒壊によって道がふさがれたり、火災の広がり等も減らすことができます。自宅が残れば、自宅避難所として使え、ひとりでも多くの人が避難所を使えることとなります。

更なる支援強化を

裏面の表にもあるように、品川区も耐震化の支援は広がっています。低所得やお金がない世帯にも使える耐震化でなければ命は守れません。先日の予算委員会でも共産党は災害から命を守る対策を広げてほしいと求めました。引き続き頑張ります！

フタヘツツヘ

石田ちひろプロフィール 1975年品川区生まれ(35歳)／南品川在住／区立浅間台小、城南中、都立南高校、新東京歯科衛生士専門学校卒／党医療・福祉対策委員／党青年支部長／歯科衛生士14年／家族=両親／趣味=スノーボード

住宅耐震事業 (主なもの)

①無料簡易診断

⇒木造住宅や木造アパート

②一般診断：12万円

⇒助成額6万円、自己負担6万円

③補強設計助成

⇒木造住宅：助成限度額20万円

⇒マンション：助成限度額100万円

④改修工事助成

⇒木造住宅及び非木造住宅：助成限度額150万円

⇒マンション：助成限度額2500万円

⑤建替え助成

⇒木造住宅：助成限度額150万円

※助成額には、それぞれに助成率があります。建替え助成は密集地域に限定。品川区役所の窓口は…5742-6634 (防災課)。わからない事はお気軽にご連絡ください。

高齢者や障害者世帯など 家具転倒防止の対策助成

～品川区の助成の対象が拡大します(④⑤が今回拡大)～

1、対象：

- ①65歳以上のみの世帯
- ②障害者手帳所持のみの世帯
- ③65歳以上と障害者手帳所持のみの世帯
- ④要介護3以上の65歳以上の高齢者のいる世帯
- ⑤2級以上の障害者のいる世帯

2、助成上減額：2万円(世帯)

3、自己負担：区民税非課税世帯は無料、課税世帯は1割負担

4、対象器具：

L字型金具、チェーン式器具、ワイヤーロープ式器具、ポール式器具、ストッパー式器具、マット式器具、補強材

共産党は1割負担をなくすこととさらなる対象の拡大を求めています。

無料法律相談

とき：4月24日(火)

時間：18:00～

場所：石田ちひろ事務所

弁護士さんと話しをうかがいます。

事前にご連絡ください。

5742-6818

日本共産党品川地区委員会主催